

様式第10号(第7条関係)

令和5年3月31日

上市町議会議長 堀田 喜久男 宛

氏名 碓井 憲夫

令和4年度政務活動費に係る収支報告について

上市町議会政務活動費の交付に関する条例第11条第1項(第2項)に基づき、
別紙のとおり令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和4年度政務活動費収支報告書

氏名（会派の場合は、会派名） 離井 憲夫

1 収入

政務活動費 120,000 円

2 支出

(単位:円)

項目	支出額(円)	備考
調査研究費		
研修費		
広報・広聴費	109,260	議会ニュース（週刊）82,080円 上市民報（季刊） 27,180円
要請陳情等活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費	23,220	住民自治（月刊） 7,092円 議会と自治体購読料（月刊） 9,528円 農民新聞購読料（週刊） 6,600円
事務所費		
事務費		
人件費		
合計	132,480	

3 残余

0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

項目別集計表

項目番号	項目名	(令和4年度)	
年月日	内容	支出額	(単位:円) 領収書番号
R4.8.10	週刊議会ニュース (4月~7月) 32,300円 32,300円×90% = 29,070円	29,070	3-1
R4.12.23	週刊議会ニュース (8月~12月) 36,100円 36,100円×90% = 32,490円	32,490	3-2
R5.3.22	週刊議会ニュース (1月~3月) 22,800円 22,800円×90% = 20,520円	20,520	3-3
R4.12.23 R5.3.22	上市民報 (季刊) 6月・9月・12月 45,300円×60% = 27,180円	27,180	3-4
合計		109,260	

※領収書は項目別に集計し、この集計表を表紙としてください。

政務活動記録簿

報告者名 碓井 憲夫

整理番号	使途項目	<input type="checkbox"/> 01 調査研究費 <input type="checkbox"/> 02 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 03 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 04 要請陳情等活動費		
年月日	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
活動の概要	自身の議員活動内容を周知			
場所	町中心部や周辺、南加積地区			
参加議員名	*複数参加の場合記入			
目的・内容・結果等(別紙可)	・週刊議会ニュース 町の予算や一般質問した事柄等のその後についてを調査し、内容を掲載。 住民からの意見や自分の考え方等を掲載。 各回600部作成し、赤旗新聞購読者や南加積地区の方に配布。 ・上市民報 6月議会・9月議会・12月議会報告を掲載。 各回5,000部作成し、町中心部や周辺に配布。			
上記活動に要した経費	交通費(別紙可)			
	経路	利用交通機関	金額	領収書番号
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
	交通費計	0円		
宿泊費	円	内訳		
資料・調査費	円	内訳		
広報印刷費	109,260円	内訳		
	円	内訳		
	円	内訳		
	活動経費合計	109,260円		
備考				

領 収 書 等 貼 付 用 紙

領収書番号	3-1
-------	-----

領 収 書

碓井 憲夫 様

金 32300円

但し週刊議会ニュース (4月~7月)
600枚 ; 用紙1200円・インク600円・マスター100円=1900円×17件
(4月~7月)

上記正に領収いたしました。

2022年8月10日

〒930-0982 高岡市元町2丁
機関紙共同販
TEL 076-441-3



領 収 書 等 貼 付 用 紙

領収書番号

3-2

領 収 書

碓井 憲夫 様

金 36,100円

但し週刊議会ニュース（8月～12月）

600枚；用紙1200円・インク600円・マスター100円=1900円×19件

上記正に領収いたしました。

2022年12月23日

〒930-0982 富山市荒川2

機関紙共同

TEL 076-441

領 収 書 等 貼 付 用 紙

領収書番号	3-3
-------	-----

領 収 書

碓井 憲夫 様

金 22,800円

但し週刊議会ニュース (1月~3月)
600枚 ; 用紙1200円・インク600円・マスター100円=1900円×12件

上記正に領收回りました。

2023年3月22日

■950-0992 富山市荒川2丁目24-12
機関紙共同版 ■
TEL 076-441-
■■■■■

領 収 書 等 貼 付 用 紙

領収書番号

3-4-

領 収 書

碓井 憲夫 様

金 30,200 円

但し上市民報6月・9月各議会報告 各5,000枚；用紙20,000円
インク10,000円・マスター200円
上記正に領収いたしました。

2022年12月23日

〒930-0982 富山市荒川2丁目24-12

機関紙共同販

TEL 076-441-

領 収 書

碓井 憲夫 様

金 15,100 円

但し上市民報12月議会報告 各5,000枚；用紙10,000円
インク5,000円・マスター100円
上記正に領収いたしました。

2023年3月22日

〒930-0982 富山市荒川2丁目24-12

機関紙共同販

TEL 076-441-

合計 45,300円

里山発展のための積極策を

学校統廃合ありきでなく

3月議会 碓井議員の質問要旨

上市町は里山と学校支援の白萩西部町當住宅、陽南町等の建設、ウェルネス健康科学学校の誘致。同地区の小学等食費の特別軽減。若者が同地住宅を建設する場合の応援などを実現してきた。

上市町は里山と学校支援のため
白萩西部町當住宅、陽南町當住宅
の建設、ウエルネス健康科学専門
学校の誘致、同地区的小学教科校
食費の特別軽減。若者が同地区に
住宅を建設する場合の応援など抜
本策を行つてきた。

若者移住、里山発展のための積極策。
若者移住住宅の新設・誘致に取り組まねばならない。
人の力は、物事に対する好奇心、探求しようとするエネルギーと優しさにある。知識は一生のものだ。そのような方は総じて農林業地帯、里山で生活する子どもの方が有利だなどいうことが実証されている。

国の指針は「学年複数学級だが、当たらない。人口減少、という困難をどうやって乗り越えるか。政治の「智恵と力」がため

たこともある。小規模校であつても少しでも魅力ある学校となるよう引き継ぎ方策を検討するとともに、小規模校の特色に魅力を感じた児童や保護者の皆さん方が、全町域から通学可能となることも伝えていく。小規模校といえども、その地域にとつては、小学校は非常に大きな役割を担つており交流や防災の拠点である。その拠点がなくなるといふのは、そちらにお住まいの皆さん的心に与える影響

上山町の町名は里山

人口減少だ
からと、学校
統廃合を先行

人口減少という流れの中で、
体育の授業を上市中央小学校と
一緒にさせていただい

第210号
2022年4月

日本共産党
上市町委員会

発行責任
碓井憲夫
電話 09
3763-84

4年前（2017年）
中川町長就任の最初の12月

問題があるから、組合として、地元からの声がない限りは、私は現状で対応してまいりたい」と述べている。この心を大切にして欲しい。

20年先を見据えた 政策・政治を

命を守るブクチをはじめ、パソコンもテレビも半導体も、国内産が限りなくゼロに近くなっています。社会のためではなく、自目的利益を追い求める日本。国内生産力はかつての世界3位から23位になり、20数年間国民所得が伸びないといき先进国では例のない国になっています。

この間、自農など政權は、自治体の統合だけでなく保健所、病院、学校の統合を進めてきました。小額模事業所、農業等が後退し、格差の拡大、人口減少が進んでいます。日本先の利益でなく、希望がもてる、遠くを見えた政治が求められています。

里山の学校。児童数の推移と 生徒住居の変遷 (その1) 今から10年現在

	R4年	R6年	R8年
白萩西部小	49	48	46
内住宅	26	26	27
陽南小	51	41	35
内住宅	14	10	11

卷之三

ロシアのウクライナ侵攻で、命と暮らししがこのように無惨に失われる現実に、怒りと人のおこりの虚しさを感じます。プーチン大統領は、NATO拡大の脅威への抵抗を強調しますが、砲撃による破壊や殺人、自國に対する言論や情報統制、弾圧等は、人権、平和を根こそぎ奪うもののです。

人類は長い歴史の中で、民主主義や自由、平等が人の幸せに不可欠であると学び、次第に戦争をなくしていこうという方向に進んできました。人類の知恵というべきもので、希望

でもありました。それを「自衛の間人は攻撃しない」を強調し、いくつもねて攻撃を始めます。ウクライナも、住む場所も、「全人類に対する明を出した国際的」といふとおりです。ロシアの人々は、チン大統領を信じて、多數だと報道され、この間違った認識

のため」「民
い」と正当性
つかの嘘を重
るのが侵略の
イナの人々の
奪う蛮行は、
る攻撃」と声
的な医師団の
は、まだアーヴ
している人が
れています。

人類の知恵を今こそ
「ウクライナ」平和を

お、国内へ話しかけます。我々はやめようと冷静にん。日本は二度と戦を、憲法くの命ともので、うしてお

から、争いは暴力ではなく口ひで解決するという知識をほしいと願うばかりでは、アーチンに、「戦争領土や面子より平和を」叫ばなければなりません。私は、先の大戦の教訓から教争をしないという誓いを9条に謳いました。多く引き換えにつくられた日本と世界の未来など、引き継ぎたい大事な宝

この世界の混乱の機にから核を共有保持しない」「憲法を変えて参政権与党内から出ていいしなければならない歴史の知恵を捨てて、争の道へ進もうとしてこの動きを止めなければなりません。この動きがつかなくなれば院選挙があります。めにも共産党を大きくなります。ご支援をお願

大国、アメリカでも、資本主義の見直し、社会主義の選択を求める世論が高まっています。資本主義の弱肉強食、腕力で他を制する時代を超えて、人類が限りある地球の資源を、大切に分かち合ふ時代、助け合う社会を考えなければならない時代に入ったと言われます。地球の温暖化、異常気象は全世界で即刻解決しなければならない課題です。戦争をしている時ではないと思うのです。

10年先を見据えた施策を

学校給食 段階的に地元産有機食品を

農業、化学肥料を使わない有機農業は安心安全、栄養があり美味しいだけではなく、
 ①環境保全の役割
 土壌有機物を増やし、土中に温湿度効果を固定する。
 ②移住促進の役割
 都会を離れ田舎で農業をやりたい。大型でなく小規模な有機農業を希望される若者が増えている。
 ③持続可能な農業の推進
 国が規模拡大を推進しているがこれだけでは未来はない。35年前に都会から入沢野の里山は移住して農業を始め、いまでは20世帯にまで拡大された小原農園やンターの三浦さんは「有機だからこじまざれだ」「有機だから余から移住者など人手が集まる」と喜んでおられる。

千葉県のいすみ市は技術的な支援と価格保障(60キロ2万3千円)を行って、農家と連携して有機米を生産拡大。学校給食があつたからいじめられました。

上市町は早くから総合計画に有機農業の促進を掲げていたが交付金の対象となるない選れた自治体にならぬでいる。地方公共団体は

日本共産党中央委員会、9月議会で次の質問をしました。(質疑応答の要旨)

第211号
2022年
秋季号
日本共産党
上市町委員会
発行責任者
上市町議
碓井憲夫
電話 090
3763-8445

これまでの10の年度までは金耕地面積の25%を有機農業地にするところが現実である。先導地では、有機農業について長年研究され、給食提供を始めたから数年で農家の生産量の増加に繋がっているが、当面では相当の時間が必要と思われる。

有機農業の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する義務を有する」と法律が定めている。この役割を果たすための学校給食の役割は大きい。

教育費答弁要旨
子どもに安心・安全なものを食べさせたいと、日頃の食事に有機食品を積極的に取り入れている家庭があり、また、全国的にみると、これらの農産物を給食食材として、先進的に導入している自治体があることも聞いている。しかし、ながら地元産有機食品を給食に使用するにあたっては、供給量を一定的確保できることが絶対条件となる。また、価格の面においても、保護者の皆さんの負担を考慮して、一定の食料費の中などかや

と昨年打ち出しているが、具体的な対策が見えてない。町は、国の方針を法規化しつつ、県やアルブス地耕作者の了承を得ることを条件に、町単独の補助制度創設を検討したいと考えておる。

多かつた。「資本論を学ぶ会」と社会科学院に入会。同時に自治会の役員になり学生運動へ。資本主義は矛盾を抱え、やがては競争に勝ち、格差の上を目指す生き方ではなく、働く者の共同で格差をなくする社会を創るために生きる方が「人間のしく」生きれると確信。日本共産党的道へ。後で仮想研究会に教わったが、「井屋」はお馳廻さまが説かれた。

減らす。段々下がらる中小企業対策費は40歳以下の若者に物心両面に余裕を与える。毎日夜遅くまで働きねばならない生活や単身赴任など、法律で規制する。

大学卒業までの教育費を今半額にする。

＊ 0. 800% (一九六七年の

＊ 0. 50% (1971年の

＊ 0. 25% (1971年の

＊ 0. 125% (1971年の

＊ 0. 0625% (1971年の

＊ 0. 03125% (1971年の

＊ 0. 015625% (1971年の

＊ 0. 0078125% (1971年の

＊ 0. 00390625% (1971年の

＊ 0. 001953125% (1971年の

＊ 0. 0009765625% (1971年の

＊ 0. 00048828125% (1971年の

＊ 0. 000244140625% (1971年の

＊ 0. 0001220703125% (1971年の

＊ 0. 00006103515625% (1971年の

＊ 0. 000030517578125% (1971年の

＊ 0. 0000152587890625% (1971年の

＊ 0. 00000762939453125% (1971年の

＊ 0. 000003814697265625% (1971年の

＊ 0. 0000019073486328125% (1971年の

＊ 0. 00000095367431640625% (1971年の

＊ 0. 000000476837158203125% (1971年の

＊ 0. 0000002384185791015625% (1971年の

＊ 0. 00000011920928950078125% (1971年の

＊ 0. 000000059604644750390625% (1971年の

＊ 0. 0000000298023223751953125% (1971年の

＊ 0. 00000001490116118759765625% (1971年の

＊ 0. 000000007450580593798828125% (1971年の

＊ 0. 0000000037252902968994140625% (1971年の

＊ 0. 00000000186264514844720703125% (1971年の

＊ 0. 000000000931322574223603515625% (1971年の

＊ 0. 0000000004656612871118017578125% (1971年の

＊ 0. 00000000023283064355590087890625% (1971年の

＊ 0. 000000000116415321777950439203125% (1971年の

＊ 0. 00000000005820766088897521960625% (1971年の

＊ 0. 000000000029103830444487609803125% (1971年の

＊ 0. 0000000000145519152222438049015625% (1971年の

＊ 0. 0000000000072759576111219024578125% (1971年の

＊ 0. 00000000000363797880556095122890625% (1971年の

＊ 0. 00000000000181898940278047561440625% (1971年の

＊ 0. 000000000000909494701390237807203125% (1971年の

＊ 0. 00000000000045474735069511890360625% (1971年の

＊ 0. 000000000000227373675347559451803125% (1971年の

＊ 0. 0000000000001136868376937797259015625% (1971年の

＊ 0. 0000000000000568434188468898629578125% (1971年の

＊ 0. 00000000000002842170942344493147890625% (1971年の

＊ 0. 000000000000014210854711722465739203125% (1971年の

＊ 0. 00000000000000710542735586112326960625% (1971年の

＊ 0. 000000000000003552713677930561634803125% (1971年の

＊ 0. 00000000000000177635683896528081740625% (1971年の

＊ 0. 000000000000000888178419482640408703125% (1971年の

＊ 0. 00000000000000044408920974132020435625% (1971年の

＊ 0. 000000000000000222044604870660102178125% (1971年の

＊ 0. 0000000000000001110223024353300510890625% (1971年の

＊ 0. 0000000000000000555111512176650250445625% (1971年の

＊ 0. 0000000000000000277555756088325125223125% (1971年の

＊ 0. 00000000000000001387778780441625626115625% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000693889390220812813053125% (1971年の

＊ 0. 000000000000000003469446951104064015278125% (1971年の

＊ 0. 000000000000000001734723475552032007638125% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000867361737777016003815625% (1971年の

＊ 0. 0000000000000000004336808688885080019078125% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000021684043444425400095390625% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000010842021722212700047790625% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000054210108611056500023890625% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000027105054305528250011945625% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000013552527152764125005973125% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000000677626357638206250029878125% (1971年の

＊ 0. 0000000000000000000033881317881910312500149390625% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000001694065894095015625000746875% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000000084703294704750781250003734375% (1971年の

＊ 0. 0000000000000000000004235164735237539062500018678125% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000211758236761876953125000093390625% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000105879118380938476562500004669375% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000000005293955919047923828125000023346875% (1971年の

＊ 0. 0000000000000000000000264697795952396191406250000116734375% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000013234889797619809570312500000583671875% (1971年の

＊ 0. 0000000000000000000000066174448988099047853125000002918359375% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000000000330872244940495239256250000014591771875% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000001654361224702476196281250000007295885625% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000000000082718061235123809810312500000036479428125% (1971年の

＊ 0. 0000000000000000000000004135903061756190490562500000018239714375% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000000206795153087809524528125000000091198571875% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000000000010339757654390497726406250000000455992890625% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000000051698788272197488632812500000000227996445625% (1971年の

＊ 0. 0000000000000000000000000258493941360987443164062500000001139982228125% (1971年の

＊ 0. 0000000000000000000000000129246970680493721582812500000000569991114375% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000000006462348534024686079103125000000002849955571875% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000000003231174267012343039562500000000014249777859375% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000000001615587133506171519781250000000007124888928125% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000000000000080779356675308575989062500000000035624444640625% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000000000000040389678337654287945312500000000017812222328125% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000000000000020194839168827143972656250000000008906111164375% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000000000100974195844135719863281250000000044530555821875% (1971年の

＊ 0. 0000000000000000000000000000504870979220578599316406250000000222652779140625% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000000000025243548961028929765312500000000111326395578125% (1971年の

＊ 0. 0000000000000000000000000000126217744805144648826562500000000556631977890625% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000000000006310887240257232441328125000000027831598894375% (1971年の

＊ 0. 0000000000000000000000000000031554436201286162206406250000000139157994471875% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000000000000000157772181006430811031250000000006957899779140625% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000000000000788860905032154055164062500000003478949889578125% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000000000000394430452516077027531250000000017394749447890625% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000000000000000019721522625803851376406250000000086973747794375% (1971年の

＊ 0. 00000000000000000000000000000009860761312901925088125000000000434868739734375% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000000000000049303806564509625440625000000002174343698678125% (1971年の

＊ 0. 000000000000000000000000000000024651903282252812500000000010871718489140625% (1971年の

＊ 0. 0000000000000000000000000000000123259516411260625000000000054358592359375% (1971年の

謹賀新年 今年もよろしくお願ひいたします

平和を守る運動の拡大を 武力ではなく中立の平和外交推進を



街頭演説する碓井議員

五千万を超える専い人命を奪つた世界大戦。戦争を二度と起こさないと誓つた日本国憲法第9条が、様々な口実で今、骨抜きにされつつあります。敵基地を先制攻撃するなど軍事大国化へ向かい、その軍事費は膨大な額で、庶民の生活は一の次となりかねません。

日本共産党は、大軍拡、大増税、改憲に反対し、運動を多くの町民の方がたと力を合わせ、進めて参ります。

電源に占める自然エネルギー比率
自然エネルギー財團資料
2019年

デンマーク	78%
カナダ	68%
イギリス	42%
中国	29%
日本	22%

温暖化の要因でもあり、輸入に頼る石油、石炭、天然ガスの依存を減らし、太陽光、水力、バイオマスエネルギー発電の促進を進めねばならない。富山県は全国でもトップクラスの水が豊富な環境にある。魚津市の北陸電機

日本共産党の碓井憲夫
議員は12月議会で次の質問・
提案をしました。(要旨)

町議会報告

自然エネルギーの活用促進を

日本共産党
上市町委員会

発行責任者
上市町議
碓井憲夫
電話 090
3763-8445

国民の声が政治を動かす

子供の国保税 減額制度スタート

国は、2022年度から未就学児の第1子からの国保税均等割を5割減額する制度をスタートしました。

少子化の克服が最大の課題とされる中、日本共産党は、地方で、国で、子供が生まれる度に増額される国保税の問題点と改善の必要性を説いてきました。

その声が、天の声、国民の声となり、制度化されました。

少子化で歯止めがかからぬ今日においては、一人でも多くのお子さんを生み育てていただきたいとの思いから、一人の子のお子さんから負担軽減を図れるよう

な施策を増やしている。

町長
三子の奨学金制度・子ども
の国保税は町の負担で

・学校給食費の無償化・第

二子の奨学金制度・子ども

の国保税は町の負担で

・学校給食費の無償化・第

=3月議会質疑=

学校統廃合推進は「いじめ、不登校」の増大にならないか。

学校統廃合推進に現場の教師の意向と子ども声が反映されているか

<教育長答弁要旨>

学校の統廃合により、いじめや不登校が増大するのではないかとのことです。しかし、いじめや不登校には様々な要因があり、小規模な学校ではないということは一概に言えません。確かに、小規模な集団から大規模な集団へ変わった際に、もともと人数が少ない集団にいた子ほど不安に感じたり、集団に馴染みにくかったりする傾向は中学進学時に見られるため、現在も、ふるさと学習を行う際に町内全小学校の子どもたちが集う機会を設けるなど、中学進学時に人間関係を築きやすいよう努めています。

そして、こうした課題を解決すべく、今般、教育委員会から提案した義務教育学校への移行は、一度で再編・統廃合が完了することを基本案としております。

今後、学校の統合が実現した際には、学校統合を円滑に進めるための加配教員の配置を県教育委員会に要望するなどして、より沢山の人の目で子どもたちを見守り、いじめや不登校の未然防止と早期発見・早期対応に努めてまいります。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置拡充を県教育委員会にお願いし、相談体制の充実を図特別りたいと思っております。

次に、現場の教師の意向等が反映されているのかとのご質問ですが、令和3年3月に教育委員会としてお示しした小学校の適正規模等に関する見解は、現場の先生方の意見をお聴きしたうえで取りまとめたものであります。

また、来年度に開催する学校教育審議会では、学識経験者や校長先生の代表に加えて、各校区から当事者である子どもたちの保護者の方々にも委員として参加いただく予定しておりますので、そうした方々のご意見は答申に反映されるものと理解しています。

信頼は一朝にして築かれるものではない。

利害を超えて、忍耐を重ね、裏切られても裏切り返さない誠実さこそが、人々の心に触れる。

それは武力以上に強固な安全を提供してくれ、人々を動かすことができる。

私達にとって平和とは理念ではなく現実の力なのだ。

医師 中村哲



3月19日 千石城山を登山しました。各地から多くの方が登山を楽しんでおられました。

頂上からの剱岳の風景は素晴らしかったです。

最近の入札工事

3月15日

千円

工事名	落札価格	予定価格	落札業者
外科用X線撮影装置購入	11,600	11,700	プロメデカル

項目別集計表

項目番号	項目名	(令和4年度)	
年月日	内容	支出額	領収書番号
R4.5.16 R4.11.14	住民自治(月刊) 7,092円 R4.4月～R5.3月分	7,092	7-1
R5.3.22	議会と自治体購読料(月刊) 9,528円 R4.4月～R5.3月分	9,528	7-2
R4.7.26 R4.12.20	農民新聞購読料(週刊) 6,600円 R4.4月～R5.3月分	6,600	7-3
合計		23,220	

※領収書は項目別に集計し、この集計表を表紙としてください。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

領収書番号

7-1

領 収 証

No.

石井憲太 様

2022年5月16日

★ 3.5×6月

但 「住民と自治」然（72/1~9月）研究会
上記正に領収いたしました

内 訳

富山県小矢部市田川

税抜金額

山崎 勇方気付

消費税額等(%)

富山県自治体問題研究会

〒932-0021 TEL (0766) 67-3668

コクミンケイ 1036

事務局長 山崎 勇

領 収 証

No.

石井憲太 様

2022年11月16日

★ 3.5×6月

但 「住民と自若山（72/10~3月）研究会
上記正に領収いたしました

内 訳

富山県小矢部市田川2502

税抜金額

山崎 勇方気付

消費税額等(%)

富山県自治体問題研究会

〒932-0021 TEL (0766) 67-3668

事務局長 山崎 勇

合計 7,092 円

領 収 書 等 貼 付 用 紙

領収書番号	7-2
-------	-----

領 収 書

碓井 憲夫 様

金 9528円

但し 月間議会と自治体
794円×12（4月から翌年3月）

上記正に領収いたしました。

2023年3月22日

〒930-0982 富山市荒川2丁目24-12

機関紙大同版

TEL 676-441-

領 収 書 等 貼 付 用 紙

領収書番号

7-3

No.

領 収 証

石住牛彦夫 様

2022年7月26日

★ 7,3300

但農民新聞 2022.4~9月分と12

上記正に領収いたしました

内訳

農民運動富山県連合

税抜金額

〒939-1316 砺波市太門59

消費税額等(%)

TEL 0763-32-7290

FAX 0763-32-6636

No.

領 収 証

石住牛彦夫 様

2022年12月20日

★ 7,3300

但農民新聞 10~3月分と12

上記正に領収いたしました

内訳

農民運動富山県連合

税抜金額

〒939-1316 砺波市太門59

消費税額等(%)

TEL 0763-32-7290

FAX 0763-32-6636

合計 6,600円